

第6学年 教科「おおたの未来づくり」学習指導略案

日 時：令和6年10月22日

13：40～14：25

対 象：第6学年1組 34名

指導者：主任教諭 宮本 大地

1 単元名「季節×時間の香りを開発してみよう」【A ものづくり】(35時間扱い)

2 単元目標

株式会社ポーラの新規事業「KINARU」の方と連携し、世界に1つだけの香りを試行錯誤しながら創り出す活動を通して、自分の考えや思いを相手に伝える力や豊かな感性、柔軟な発想力を身に付けるようにする。

3 単元の評価規準

		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A ものづくり	コンセプト	① 「KINARU」の理念、コンセプト設定の意味を理解し、必要な内容的・方法的な知識・技能を身に付けている。	① 得た情報を整理・分析し、「Well-being」につながる香りのコンセプトを設定している。	① 「KINARU」の方の講話をよく聞き、協働的にコンセプト設定に取り組もうとしている。
	デザイン	② コンセプトに合った香りを創り出すための必要な内容的・方法的な知識・技能を身に付けている。	② コンセプトに合った香料の組み合わせ、キャッチコピー、パッケージ等を考えている。	② 講話で得た情報、感性を基に、アイデアを出し合ってコンセプトに合った香りの開発をしようとしている。
	クリエイション	③ デザインしたものを実際に創造し、分かりやすく発信するために必要な内容的・方法的な技能・知識を身に付けている。	③ 「KINARU」の方からの評価等を基に、試行錯誤して内容を改善したり、提案資料をまとめたりしている。	③ 「KINARU」の方からの評価等を受け止め、改善に粘り強く取り組んだり、活動を振り返って価値や改善点を見いだしたりしようとしている。
	ICTの活用	④ ICTを活用した情報収集・調査・スライド作成・資料作成に関する知識・技能を身に付けている。	④ 効率性や分かりやすさの視点をもってICTを効果的に活用している。	④ モラルや相手意識をもって、他者との協働や振り返り、企画や取り組みの改善のために活用しようとしている。

4 本単元で扱う教科等の内容及び本単元に充てる授業時数（35時間）

教科等名	本単元で補完する内容		授業時数
国語	読むこと	・文章を読んで意見や感想を共有し、自分の考えを広げること。	9
	話すこと 聞くこと	・目的や意図に応じて集めた情報を分類したり関係付けたりして、伝え合うこと。	
社会	国際社会	・LGBTQ+の課題に着目して、国際連合の働きや我が国の国際協力の様子を捉え、国際社会において我が国が果たしている役割を考え、表現すること。	3
算数	データの活用	・目的に応じたデータを集めて分類整理し、特徴や傾向に着目したり、問題を解決するために適切なグラフを選択して判断したりしながら、その結論について多面的に捉え考察すること。	4
図工	共通事項	・自分の感覚や行為を通して、形や色などの造形的な特徴を理解すること。	3
家庭	消費生活・環境	・環境に配慮した生活について、物の使い方などを考え工夫すること。	1
総合	・地域の人、もの、ことの中から問いを見だし、その解決に向けて見通しをもって調べ、集めた情報を整理、分析し、根拠を明らかにしてまとめ・表現する力を身に付けること。		15

5 授業パートナーとの打合せ、授業日程

学習内容を充実させるために株式会社ポーラと連携をした。交渉を始めたのは7月上旬。詳細な打ち合わせは夏季休業期間と9月上旬に行った。その後も、必要なときに都度連絡を取り合った。

- | | | |
|-------------|--------------------------|------------|
| ① 7月 1日（月） | オンラインミーティング（約2時間） | } 都度連絡を取る。 |
| ② 7月16日（火） | 本校にて対面ミーティング（約2時間） | |
| ③ 夏季休業期間中 | ポータルサイトのチャット機能（複数回） | |
| ④ 9月 2日（月） | オンラインミーティング（約1時間） | |
| ⑤ 9月12日（木） | ポーラ本社にて対面ミーティング（約1時間30分） | |
| ⑥ 9月19日（木） | ポーラとの授業1回目 | |
| ⑦ 10月8日（火） | ポーラとの授業2回目 | |
| ⑧ 10月22日（火） | ポーラとの授業3回目（エリア協議会） | |

今後の流れについては、10月22日（火）の授業を受けて調整していく。11月下旬～12月上旬頃を目途に、授業を終える予定である。

6 本時の学習

(1) 本時のねらい

- ・提案資料や試作品を用いながら中間報告を行うことができる。
- ・「KINARU」の方からのフィードバックを基に改善案を話し合うことができる。

(2) 本時の展開

	○主な学習活動 ・予想される児童の反応	◆評価規準【観点】(方法) ・指導上の留意点		
導入	<p>○本時のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・聞き手に伝えることを意識して中間報告をしよう。 ・アドバイスをしっかりと聞こう。 </div> <p>○発表の際の留意点を確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の目的意識をもたせる。 ・発表の際の留意点をおさえる。 (話し手、聞き手のポイント) 		
展開	<p>○班ごとに中間報告を行う。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> <p>1～4班 <6年1組></p> <p>① 中間報告(4分)</p> <p>② フィードバック(3分)</p> <p>③ 改善案の話し合い</p> <p style="text-align: center;">※14時20分まで</p> </td> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> <p>5～7班 <6年2組></p> <p>① 中間報告(5分)</p> <p>② フィードバック(3分)</p> <p>③ 改善案の話し合い</p> <p style="text-align: center;">※14時20分まで</p> </td> </tr> </table>	<p>1～4班 <6年1組></p> <p>① 中間報告(4分)</p> <p>② フィードバック(3分)</p> <p>③ 改善案の話し合い</p> <p style="text-align: center;">※14時20分まで</p>	<p>5～7班 <6年2組></p> <p>① 中間報告(5分)</p> <p>② フィードバック(3分)</p> <p>③ 改善案の話し合い</p> <p style="text-align: center;">※14時20分まで</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・1～4班は6年1組 ・5～7班は6年2組で行わせる。 ・発表が円滑に進むよう支援する。 ・フィードバックの内容についてメモを取るよう促す。 <p>◆【主】③「KINARU」の方からの評価等を受け止め、改善に粘り強く取り組もうとしている。</p>
<p>1～4班 <6年1組></p> <p>① 中間報告(4分)</p> <p>② フィードバック(3分)</p> <p>③ 改善案の話し合い</p> <p style="text-align: center;">※14時20分まで</p>	<p>5～7班 <6年2組></p> <p>① 中間報告(5分)</p> <p>② フィードバック(3分)</p> <p>③ 改善案の話し合い</p> <p style="text-align: center;">※14時20分まで</p>			
振り返り	<p>○「KINARU」の方からの総評を聞く。</p> <p>○次時の活動を確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・次時の活動につながるヒントがないか考えながら聞くよう促す。 		